第６４回関東医歯薬大学ラグビーリーグを終えて

平成２８年１２月１３日

書記長　長谷川雅一

　今年度は新たな執行部運営のもとリーグ戦が開催されましたが、12月11日の入れ替え戦をもって、全日程が無事終了しました。大きな重症事故もなくシーズンを終えることができましたのも関係各位のご協力の賜物と感謝申し上げます。

　今年も各リーグで熱戦が繰り広げられました。最終日の結果次第で順位が大きく変動するような状況や入れ替え戦の拮抗した試合展開など、各校の実力が拮抗していることを示しています。その中でも1部優勝の筑波大学医学群は全勝で他校を圧倒する見事な2連覇でした。おめでとうございます。来年は3連覇を目指すとともに、他校は打倒筑波大学を目標に日々の努力に励んでください。

　一方、シーズン序盤には規律が守られない危険なプレーが目立ち、シンビンプレーも数多く報告され通達「リーグ戦の競技規則順守に関して」を出す結果になってしまいました。来年度は学生自ら規律のあるプレーに期待したいと思います。

　また今年度中に２校の不祥事が報じられました。連盟に関わるものとして、同じラガーマンとして非常に遺憾であります。学生諸君においては、今後医療に関わるものとして、ラガーマンとして今一度自分の置かれた立場を考えて日々行動してほしいと思います。また各大学理事をはじめ指導的立場の先生方には今一度厳しくご指導いただきますようお願い申し上げます。

　2019RWCに向けて日本中のラグビーファミリーが盛り上がりを見せる中、部員不足の問題は連盟としても大きな課題と考えます。医歯薬リーグは、より楽しく・安全で・よりラグビー文化を重んじるリーグであると思います。これらの魅力を伝え、多くの仲間に加わってもらえるよう各大学とも学生・OBが一体となって盛り上げていきましょう。今シーズン、努力が実ったチーム、残念ながら力が出しきれなったチーム、様々と思いますが、来春新たなスタートを切って秋には素晴らしいシーズンが迎えられるよう日々努力してください。

　今シーズン1年間お疲れ様でした。

以上